

# 環境大賞優秀賞に2団体

## 吉田小6年2組／朝日村商工会

アイネット

電気通信設備工事などを手掛けるアイネット（松本市征矢野1）

14日、松本市本庄1

のホテルブエナビスタ

で、塩尻市や朝日村で環境保全活動に取り組む団体・個人を表彰する「第2回しおじり・あさひ環境大賞」の表彰式を開いた。昨年度

の塩尻市吉田小学校5

年2組（現6年2組）と、朝日村商工会を優

秀賞に選び、希少植物の保護や環境美化への

尽力をたたえた。

吉田小6年2組の児童たちは4年生の時から、絶滅危惧Ⅱ類に指定され「ちごちご」の愛称で呼ばれる多年草「オキナグサ」を育て、地域に配布する活動をしてきた。朝日村商工会は地元の鎖川沿いの花植えや道路清掃活動、カーブミラーの点検、清掃などに取り組んでいる。

担任の金井亜希教諭と朝日村商工会の植村茂生会長にそれぞれ表彰状と副賞15万円を手渡した。金井教諭は「賞をもらい子供たちの意欲も高まっている。地域とともに今後の活動を見守っていききたい」と語り、植村会長は「当たり前のごとし

てやってきたことが評価されてうれしい。末永く地域に喜ばれる活動をしていきたい」と述べた。

中越社長は「二つとも塩尻市と朝日村の共同地だが意義ある活動。今後も継続してほ

しい」と期待していた。ら、表彰を企画している。

同社は朝日村内にある。（石尾 出）

有地で太陽光発電事業を行っていていることか

ら、表彰を企画してい

る。

（石尾 出）

表彰式で、中越慎介社長が吉田小6年2組

述べた。



表彰状を受け取る植村会長(中央)と金井教諭(右)